

平成23年度各会計決算

	歳入決算額(円)	対前年度 伸び 率	歳出決算額(円)	対前年度 伸び 率	歳入 歳出 差引額 (円)
一 般 会 計	179,962,990,068	11.8%	171,552,466,107	11.2%	8,410,523,961
国民健康保険事業特別会計	51,716,733,017	6.2%	50,939,788,760	5.3%	776,944,257
後期高齢者医療事業特別会計	7,366,236,255	3.8%	7,362,723,118	3.9%	3,513,137
介護保険事業特別会計	25,557,559,966	5.5%	25,551,209,570	6.0%	6,350,396
用地特別会計	14,601,246,468	2631.9%	14,601,246,468	2631.9%	0
駐車場事業特別会計	650,496,963	35.7%	649,584,995	35.7%	911,968
合 計	279,855,262,737	15.7%	270,657,019,018	15.2%	9,198,243,719

9月19日の本会議において、平成23年度各会計歳入歳出決算6件を審査するため、37名の議員で構成する決算審査特別委員会が設置されました。

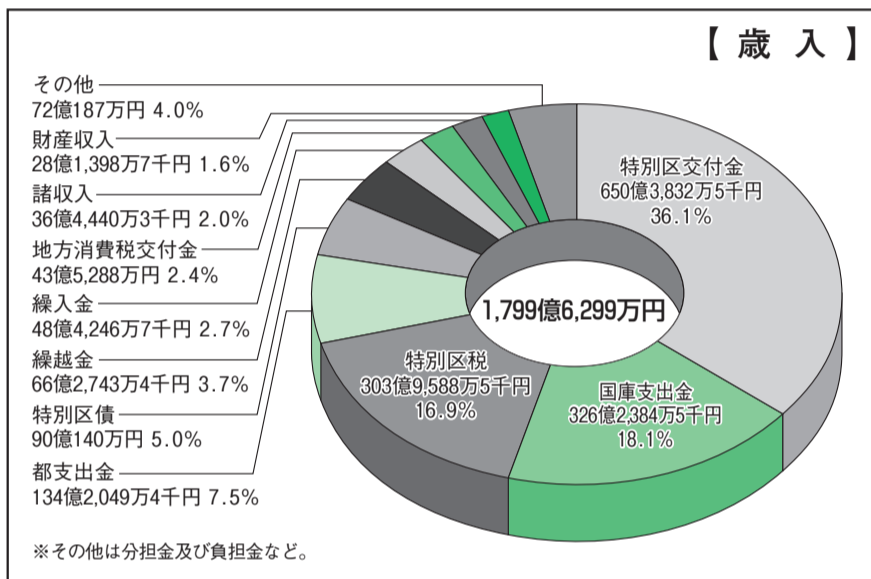
決算の審査は、第1〜4までの各分科会において詳細に行われ、その後、決算審査特別委員会において、各会計決算についての採決を行い、いずれも認定すべきものと決定し、10月18日の本会議において認定されました。

決算審査特別委員会

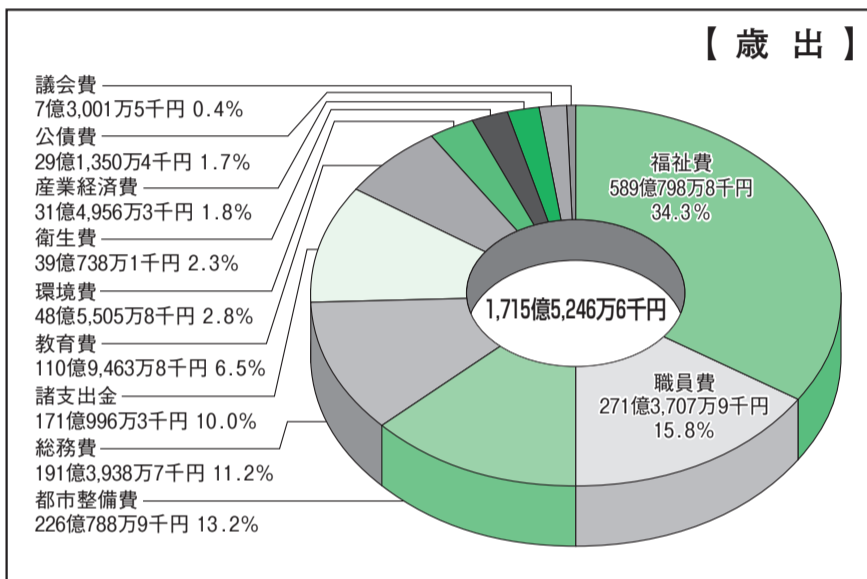
平成23年度決算を審査

一 般 会 計

【歳入】



【歳出】



※千円未満を四捨五入しているため、金額の合計が合わない場合があります。

決算審査特別委員会 委員長報告(要旨)

決算審査特別委員会は、平成23年度各会計歳入歳出決算について審査を行うために、9月19日の本会議において、37名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計歳入歳出決算のうち、議会費、総務費、産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費及び公債費以下と各特別会計歳入歳出決算を所管しました。

10月5日から11日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、10月15日に、当委員会は、各分科会長からの審査経過及び各会派からの意見の報告を踏まえ、各会計歳入歳出決算について採決を行いました。

採決の結果につきましては、「一般会計歳入歳出決算」、「国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算」、「駐車場事業特別会計歳入歳出決算」については、いずれも賛成多数で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

また、「後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算」、「介護保険事業特別会計歳入歳出決算」、「用地特別会計歳入歳出決算」については、いずれも全会一致で報告のとおり認定すべきものと決定しました。

平成23年度決算に対する各会派の意見

この面から7面まで、平成23年度決算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党

葛飾の強みを生かし
さらなる施策の展開を

本区の平成23年度決算は、「区民第一」「現場第一」「ひとづくり」「スピードアップ」を区政運営の主眼に「子どもが元気に育ち、豊かな人間力を育む環境づくり」をはじめとする6つの重点施策に貴重な、限りある財源が重点的に配分され、積極的に施策を推進されましたことを評価し、認定いたします。以下、款別に述べます。

総務費

総合窓口化を推進されたことを評価します。防災対策では、女性の視点を踏まえたうえで、より一層の充実を求めます。木造民間建築物の耐震診断、改修事業を進めることも、倒壊危険家屋の解体撤去ができる仕組みづくりを求めます。障害者、高齢者など要援護者が避難する福祉避難所の活用について、きめ細かな対策を構築するよう望みます。J.Vの入札要件については建設業法、共同企業体運用準則に基づいた監理技術者の配置、医療救護所の配置の見直しに当たり受け入れ病院との連携に配慮した取り組みを求めます。葛飾の強みを生かした事業が推進できる体制を作るよう望みます。

産業経済費

販路拡大につながる伝統産業への支援拡充、雇用・就業マッチング支援事業については、各世代の雇用就労支援のさらなる拡充を求めます。

福祉費

保育所増設などによる待機児ゼロの取り組みと、3人乗り自転車購入費の助成、赤ちゃんの駅、妊婦超音波検査の年齢制限撤廃、こんには赤ちゃん訪問事業などを評価します。知的障害者入所施設の50人規模の整備、出張美容事業の利用対象者の拡大、うんどう遊園事業のさらなる事業展開を求めます。災害時の障害者への情報伝達のための「コミュニケーション支援ボード」の作成と区ホームページの活用、認証保育所の歯科健診の実施を求めます。「わたしの便利帳」に障害者にとって役に立つ情報を盛り込むことを望みます。

衛生費

子宮頸がん予防ワクチン・うつ対策、医療連携ヒワクチン、小児用肺炎球菌予防接種の助成を新たにスタートさせたことを評価します。新保健所・子ども総合センターが、区民の健康増進、子どもの健全成長の真の拠点となることを望みます。

環境費

節電対策としてLED照明器具の購入費助成は大いに評価します。今後は蓄電システム等の設置費助成を望みます。再生可能エネルギーの推進では本区の地域性を生かし具体的な施策の構築を求めます。

都市整備費

密集した市街地の街づくり事業を中心に、防災活動拠点の整備や細街路拡幅整備などの、事業推進を評価します。再開発などの街づくりについては地域の特性や住民の要望を的確にとらえ、推進するよう望みます。新小岩駅周辺の整備については区民の目線を第一に、より一層の工夫を望みます。金町駅周辺の街づくりでは、理科大開学や水元公園の活性化を視野に入れ進めるよう望みます。液状化対策の推進と共に、道路の陥没や空洞化の対策を求めます。自転車事故の減少を目指した対策を望みます。管理事務所がある公園には全園にAEDの設置を望みます。

教育費 いじめ予防対策の充実強化を望みます。災害時の医療救護所については、保健所などとの連携を密にし、実効性のある設置を求めます。校務システムの導入に対しては「子ども達とふれあう時間の確保」との当初の目的が早期に達成できるように、一層の努力を望みます。小中学校の学力向上を要望すると共に指導室の機能をさらに強化し各学校との連携を望みます。小中一貫校である新小岩学園・高砂けやき学園2校の実績や課題を検証し、教員・生徒・保護者からの意見を聞き、次期開設予定校に反映できるように期待します。学校トイレの改修事業は、実施計画に掲げた目標が達成できるように要望します。各特別会計については、適正に執行されているものと認定します。